

# 一般質問通告事項【9月13日(水)】《3日目》

平成 29 年松江市議会 9 月定例会

| 順序   | 1 4              | 議員名   | 野々内 誠 | (個人質問) (一問一答方式) | 質問日 (予定) | 9 月 1 3 日 |
|------|------------------|---|-------|-----------------|----------|-----------|
| 質問項目 | 質問要旨             |   |       |                 |          |           |
| 1    | 市産木材の活用と林業振興について | (1) 公共施設等の木造化や木質化などの達成状況と今後の予定について伺う。<br>(2) 公共施設の木造化の具体的な取り組みについて伺う。<br>(3) 松江市産木材活用事業の状況と今後について伺う。<br>(4) 松江市産木材活用事業の助成先に第 2 次産業を加えるべきと考えるが所見を伺う。<br>(5) 循環型林業の担い手育成について伺う。 |       |                 |          |           |
| 2    | 空き家対策について        | (1) 危険空き家の数と具体的な対策について伺う。<br>(2) 空き家を定住対策の資源にするための具体的な活用展開を伺う。  |       |                 |          |           |
| 3    | 市の花「椿」の振興について    | (1) 金正寺の五色八重散椿の市文化財指定と、椿サミットの誘致について伺う。  |       |                 |          |           |

| 順序   | 1 5            | 議員名  | 米田 ときこ | (個人質問) (一問一答方式) | 質問日 (予定) | 9 月 1 3 日 |
|------|----------------|--|--------|-----------------|----------|-----------|
| 質問項目 | 質問要旨           |  |        |                 |          |           |
| 1    | 一般不妊治療助成制度について | (1) 松江市では、出生数が横ばいか減少する中で、一般不妊治療の助成申請件数は年々増加している。一般不妊治療への助成事業の評価及び課題を伺う。<br>(2) 近年の医学の進歩により、血液検査で AMH 検査（自分の残存卵子の目安を推測）や抗精子抗体の確認などもできる。検査結果に適した、不妊治療方法を選択し、妊娠の可能性を引き上げることができる。しかし、これらの検査は医療保険適用になっていない。そこで、現行の 3 年間の助成期間を 2 年程度に短縮し、助成上限額を拡充し医療保険適用治療に限定することなく、効果のある治療方法を推進することが、少子高齢社会への貢献であり、松江市の出生数増に寄与すると考えるが一般不妊治療助成制度の拡充について市長にその意向を伺う。<br>(3) 平成 30 年度から松江市保健所設置に伴い、特定不妊治療の助成制度も松江市で実施できる。メリットは大きいですが、不妊治療を受けている方々は精神的、身体的にも非常な苦痛とストレス等を抱えていることが多い。これらの方々に寄り添いながら手続きの簡略化や松江市の子育て日本一の目標を達成するためにも、窓口業務が重要と考える。平成 30 年度からはどのような体制で実施される予定か伺う。 |        |                 |          |           |
| 2    | 産後ケア事業について     | (1) 国、松江市ともに母子保健計画等で切れ目のない支援を行うことを目標にしているが、乳児訪問の 1 か月以内での訪問率が低い。この現状をどのように受け止めているのか伺う。   |        |                 |          |           |

# 一般質問通告事項【9月13日(水)】《3日目》

平成 29 年松江市議会 9 月定例会

| 順序                | 15  | 議員名 | 米田 ときこ | (個人質問) (一問一答方式) | 質問日 (予定) | 9月13日 |
|-------------------|---|-----|--------|-----------------|----------|-------|
| 質問項目              | 質問要旨  |     |        |                 |          |       |
| 2 産後ケア事業<br>について  | <p>(2) 出生後、医療機関によっては、退院後 1 週間目（生後 14 日目）に受診勧奨を行い、母乳の分泌や母親等の育児状況を受診時に確認し、必要に応じて指導している。しかし、自己負担のため、全員が受診するわけではない。退院後 1 週間は、新米ママにはとても大変な時期でもある。生後 2～3 週間目に公費で健診があると、タイムリーな指導が受けられ、安心して子育てを行うことができる。さらに保健師等の訪問により、育児不安の軽減策を図ることにより増え続けている児童虐待予防に大きな寄与をすると考えるが市長の意向を伺う。</p> <p>(3) これらの予防策として国は産後ケア事業を推進している。松江市では母子保健関係機関との連携が取れ、助産師等の協力も得やすい。両者がともに産後ケア事業を取り組むことでより切れ目のない支援の提供につながると思うが産後ケア事業への取り組みについて市長の意向を伺う。</p>   |     |        |                 |          |       |
| 3 介護予防事業<br>について  | <p>(1) 年々増え続ける介護給付費等を勘案し、第 7 期の介護保険計画は介護予防事業に大きくシフトすべきと考えるが、市長の考えを伺う。</p> <p>(2) 現在、要支援 1、2 の該当者は地域状況を勘案し、松江市で基準単価を決定することになっている。どのような点を地域状況と勘案して決定したのか伺う。また、その効果についても伺う。</p> <p>(3) 介護事業所も多く開設され、利用者は選択できる状況にある。介護予防事業所で、利用者の介護状態を維持または、改善している事業所が何件あり、その要因はどこにあると分析しているのか伺う。これらを公表する考えはないのか伺う。</p> <p>(4) 高齢になると入浴や買い物、調理が困難になると伺う。この点を介護予防デイサービスの利用で補完していると考えがいかがか伺う。現状介護予防デイでの入浴加算等の考えはないのか伺う。</p> <p>(5) 介護予防事業等について地域包括支援センターが果たす役割は非常に大きい。総合事業導入前と導入後の職員数の変化について伺う。</p> <p>(6) 地域包括ケア体制の整備を図るためには、包括支援センターの職員が重要な役割を担っていると考えるが、現状の職員数で小学校区ごとにケア体制整備がどの程度可能と考えているのか伺う。</p> |     |        |                 |          |       |
| 4 障がい相談事業<br>について | <p>(1) まつえ障がい者サポートステーション「絆」の相談員は、相談事業所の持ち回りとしているが、メリットとデメリットについて伺う。</p> <p>(2) 「絆」の役割と国が進める基幹型相談事業所としての考えについて伺う。</p> <p>(3) 基本相談事業の問題・課題について伺う。</p>   |     |        |                 |          |       |

# 一般質問通告事項【9月13日(水)】《3日目》

平成 29 年松江市議会 9 月定例会

| 順序                    | 議員名  | 河内 大輔 | (個人質問) (一括方式) | 質問日 (予定) | 9 月 1 3 日 |
|-----------------------|--|-------|---------------|----------|-----------|
| 質問項目                  | 質問要旨   |       |               |          |           |
| 1 松江市の情報発信について        | (1) 松江市内のインターネット広告の市場規模はどのくらいで、また今後どのように推移していくとお考えか。   |       |               |          |           |
| 1 松江市の情報発信について        | (2) 松江市はホームページ、マールテレビを始めとしたテレビ番組、市報、SNSなどで情報発信を行っているが、現在の情報発信の方法で多くの市民へ十分に情報が伝わっていると思うか。また、松江市のホームページで最新情報でないページや、発信頻度が低いページが目立つが情報発信の重要性はどのように感じているか。<br>(3) 市民は松江市のすべての情報を得たいと思っているのではなく、自分自身が関心のある事や、知っておかなければならないことなど特定の情報を得たいと思っている。特定の情報を得たいと思っている市民に確実に情報を届けることのできる媒体はスマートフォンやタブレットのアプリだと思う。松江市の魅力、情報を発信するアプリ《松江お出かけナビ》を共創・協働の手法を用いて、プログラミング言語はRubyを使用しての開発を提案する。それに対する考えはいかがか。   |       |               |          |           |
| 2 電力自由化による新電力への対応について | (1) 平成 17 年に 50kW 以上の高圧電力が自由化となり 12 年が経つ。新電力への切り替えや契約の見直し等の他自治体の取り組み動向を把握しているか。<br>(2) 松江市所管の施設で、高圧施設等が約 140 あるが、昨年まで中国電力とのみ随意契約をしていた理由は、これまで新電力会社からの電気料金削減の提案は無かったのか。<br>(3) 教育委員会所管の高圧施設等、約 50 施設の内 33 施設は昨年の電力入札の結果、丸紅新電力が落札し、年間約 2,200 万円の電気料金の削減が見込まれていると聞いている。中国電力と随意契約の高圧施設等は現在 110 施設ありあるが、電気料金削減のため全ての施設を入札またはそれに相応する形でのシミュレーションまたは新電力、中国電力への打診はしているか。<br>(4) 全庁施設の入札や新電力との随意契約で大幅な電気料金削減に成功している自治体があるが参考にしてしているか。していないなら今後参考にする予定はあるか。 |       |               |          |           |

| 順序         | 議員名  | 橘 祥朗 | (個人質問) (一括方式) | 質問日 (予定) | 9 月 1 3 日 |
|------------|--|------|---------------|----------|-----------|
| 質問項目       | 質問要旨   |      |               |          |           |
| 1 国保問題について | (1) 平成 30 年度から始まる、「国保の都道府県化」により、国保会計は県が一括管理し、各市町村に納付金を割り当て、市町村が住民から集めた保険料を県に納付する形で国保会計が運営されることとなる。県は市町村ごとに医療給付費の水準や標準保険料率、標準的な収納率の指標を提示することになるために、市町村には給付抑制や収納率向上などの圧力が加えられることとなる。 |      |               |          |           |

# 一般質問通告事項【9月13日(水)】《3日目》

平成 29 年松江市議会 9 月定例会

| 順序                        | 議員名   | 橘 祥朗 | (個人質問) (一括方式) | 質問日 (予定) | 9 月 1 3 日 |
|---------------------------|---|------|---------------|----------|-----------|
| 質問項目                      | 質問要旨  |      |               |          |           |
| 1 国保問題について                | <p>35%の市町村は保険料が高くなると試算、松江市の国保料は平成 27 年度を見ても 1 人当たり 97,770 円と県下 19 市町村で最も高い。来年度からの国保県移管試算を見ても、松江市は最も高くなっている。一方で、国保基金は 9 億 1 千万円を超えるため込みとなっている。</p> <p>ア 国保に加入しているのは低所得者や高齢者が多く、公的医療保険の中でも所得に占める負担は倍近いが、加入者の実情をどのように認識し、対応しようとしているのか、見解を尋ねる。</p> <p>イ 国保の「都道府県化」による料金の引き上げが懸念されている。保険料についてはどのようになるか、引き上げを避ける努力はどうか、見解を尋ねる。</p> <p>ウ 国保基金について、平成 11 年の通達「保険給付費の 5%の積み立て」は破棄されているはずだが、保険料の引き下げに基金の活用を求める。</p>   |      |               |          |           |
| 2 「生活困窮者支援制度」について         | <p>(1) 平成 27 年 4 月、「生活困窮者自立支援制度」が施行され、この法律により、島根県でも全ての自治体で、生活が苦しくなった時、早めの段階から、相談できる窓口が設置され、生活困窮者に対する自立支援に取り組んでいくこととなっている。</p> <p>生活困窮に陥っている人たちが直面しているのは、心身の障害、失業、家族の介護、複数の問題が絡み合った状況があり、この制度では、相談支援の窓口では一人一人の事情にあった総合的な支援計画を作成する。</p> <p>支援が必要な生活困窮者を早期に発見していくことが重要で、生活困窮者は自ら支援を求めないことが多く、窓口で待っているだけでは地域の生活困窮の実態はつかめない。福祉と雇用の連携、縦割り行政の克服など課題は多いと思うが、様々な先駆的な事例を参考に実効性のある取り組みを望む。</p> <p>ア 生活困窮世帯を支援するための取り組み状況、および今後の実効性のある取り組みの方針について伺う。</p> <p>イ 困窮度合いが高い人ほど、平日に相談窓口に来ることは困難と思われるため、土日、夜間など、困窮者に合わせて相談に応じる体制が必要と考える。また、積極的な訪問活動を求めるがいかがか。</p> <p>ウ 生活困窮者に対し、国民健康保険証を取り上げたり、公租公課等の未納によって財産を差し押さえるなどの制裁措置を行えば、生活困窮から脱することはできなくなる。相談窓口で相談があった際は、保険証の取り上げなどの制裁を留保し、解除する仕組みを構築すべきである。このような生活困窮者を救済、支援する実効性のある対策を求めるが、所見を伺う。</p> |      |               |          |           |
| 3 八束における「地域の将来を考える活動」に支援を | <p>(1) 八束町で、島根大学の法文学部や生物資源科学部の先生方と、地域住民との協力で、「地域づくり No.1 を八束から、豊かで住み続けることのできる地域を」と銘打って、5 年先、10 年先の将来計画を作ろうということになり、第一回目の意見交換会を行い、市からも多数参加いただいた。</p>   |      |               |          |           |

# 一般質問通告事項【9月13日(水)】《3日目》

平成 29 年松江市議会 9 月定例会

| 順序                        | 議員名   | 橋 祥朗 | (個人質問) (一括方式) | 質問日 (予定) | 9 月 1 3 日 |
|---------------------------|---|------|---------------|----------|-----------|
| 質問項目                      | 質問要旨  |      |               |          |           |
| 3 八束における「地域の将来を考える活動」に支援を | <p>課題はこれから、どこまでテーマを広げるか、どのようにこの仕事を進めていくか、地域住民にとっては、手探りでの出発である。</p> <p>大学との協力を合わせて、行政による積極的な支援が必要と考え、以下について伺う。</p> <p>ア 地域の現状分析などの作業へは、行政のしっかりした協力が必要と考えるが、見解を伺う。</p> <p>イ 十分、不十分は、これからの取り組みいかんとなるが、いわば「地域版の総合戦略づくり」を自主的に取り組むこととなる。戦略づくりの進め方へは、これまでの蓄積を生かした行政のアドバイスが必要と考えるが、見解を伺う。</p> <p>ウ このような戦略づくりというソフト事業への助成制度を検討されてはいかがか、伺う。</p>  |      |               |          |           |
| 4 八束のまちづくりの直面する課題について     | <p>(1) 地域の豊かさを追求するという意味では、八束では現状での厳しい農・漁業への対応が求められる</p> <p>農業問題では、ボタンはここ 10 年でも戸数、生産量、販売額とも 4 割から 6 割減との報告、薬用ニンジンではここ 5 年では生産量は増えているが、とても過去の生産量とは比較にならないし、生産者も 1 グループと数軒の農家となっている。また荒地対策として農地の集積など様々な取り組みがなされているが、ソバの助成制度が変わり、大豆など次を模索する動きもある。特産やその他、行政の多面的支援が必要と考えるがいかがか。</p> <p>(2) 中海漁業の総漁獲量は、平成 17 年・355 トンが平成 28 年・89 トンと大幅な減少となっている。ウナギの漁礁の設置などで放流事業が成果を生むことが期待されているが、一定長期にわたっての取り組みが必要と考える。中海漁業の復活は松江市の大きな課題であり、より一層の取り組みを期待したいが、どうか。</p> <p>合わせて中海漁業再生には、水質の改善が欠かせない。昨年の中海会議で松浦市長は「同じことを繰り返していても効果が上がっていない、もっと実効性のある対策を」など発言されたと聞く。宍道湖・中海の水質は改善されていないという県の報告が報道されたが、今年度も進展はなかったのか、今後の水質の改善に向けての対策を伺う。</p> <p>(3) 八束町内の公共交通に関して、便数の減などが関係者によって話し合われている。一便が減とのことだが、一便減ることによる経費の削減はどれほど効果があるのか。また、過去には「バスは無料でもよい、中心部に人が集まり、買い物などで効果があれば採算は取れる。巨大ビルのエレベーターは無料だ、縦が横になったと考えればよい」との話もあった様だが、公共交通に対する基本的な考え方はどうか。</p> |      |               |          |           |
| 5 地縁団体における個人情報管理について      | <p>(1) 集会所等の市からの譲渡に向けて、地縁団体の結成が各地で進められてきた。入会しなければ、集会所の利用やごみの集積所へのごみ出しなどできないとされており、地縁団体には、地域住民すべて、誕生すれば入会届を出して自治会へ入会することとなっている。</p>  |      |               |          |           |

# 一般質問通告事項【9月13日(水)】《3日目》

平成 29 年松江市議会 9 月定例会

| 順序 17                | 議員名 橘 祥朗  | (個人質問) (一括方式) | 質問日 (予定) 9月13日 |
|----------------------|---|---------------|----------------|
| 質問項目                 | 質問要旨  |               |                |
| 5 地縁団体における個人情報管理について | <p>したがって、地縁団体には、地域の全ての住民の、言ってみれば住民票が存在することとなる。住民票は自治体が管理して、漏れることがないように個人情報として管理されているのだが、地縁団体による個人情報の管理について、情報の流失対策がどうなっているか懸念する住民の声が寄せられている。市はどのように考えているのか伺う。</p> |               |                |

| 順序 18           | 議員名 出川 桃子  | (個人質問) (一括方式) | 質問日 (予定) 9月13日 |
|-----------------|--|---------------|----------------|
| 質問項目            | 質問要旨   |               |                |
| 1 子育て環境日本一について  | <p>(1) 松江市は、「子育て環境日本一」の旗を掲げておりますが、KPI (Key Performance Indicator) が設定されていません。</p> <p>ア 「子育て環境」の整備により実現できる価値はどこにあるとお考えでしょうか。</p> <p>世相や財政状況によって安易に変化することなく、腰を据えて一貫して取り組んでいただきたく、改めて市長の見解を伺います。</p> <p>(2) 政策の実現には市民の理解が必要不可欠であり、とりわけ「子育て環境」の整備に関しては、市民がその政策を理解し、安心して子育てできるという実感を持って初めて実効性を得ると考えます。</p> <p>ア “子育て環境日本一”政策の中身やその土台にある信念が、市民一人ひとりに共有できているとお考えでしょうか。</p> <p>丁寧かつ力強いメッセージを継続的に発信していく必要性を感じますが、市長の考えを伺います。</p>                |               |                |
| 2 就学前教育の重要性について | <p>(1) 近年、世界各国の研究により、0歳から6歳までの就学前児童に対する早期教育の重要性が明らかになっています。“早期教育”とは、いわゆるIQに代表される“認知能力”ではなく、将来大人になったときに必要となる「心の体力」とも言うべき、忍耐力・協調性・計画性などの“非認知能力”を育むことを指しております。</p> <p>ア 松江市における「就学前教育」への取り組み姿勢が必ずしも明確でないと感じておりますが、どこまでの強い思い入れを持って就学前教育に取り組んでいかれる方針か、市長の考えを伺います。</p> <p>イ どのような政策が幼児期の早期教育に資すると考えておられるか伺います。</p> <p>(2) 幼児期教育の支援といえば、待機児童解消など、いわゆる“子育て支援”を念頭に置いた、保護者目線の支援措置になりがちですが、子どもの目線に立って子ども自身の成長に軸足を置いた“子育て支援”の視点を忘れてはならないと考えます。</p> |               |                |

# 一般質問通告事項【9月13日(水)】《3日目》

平成 29 年松江市議会 9 月定例会

| 順序              | 議員名   | 出川 桃子 | (個人質問) (一括方式) | 質問日 (予定) | 9 月 1 3 日 |
|-----------------|---|-------|---------------|----------|-----------|
| 質問項目            | 質問要旨  |       |               |          |           |
| 2 就学前教育の重要性について | <p>ア 「子育て支援」の概念も含め、就学前教育に取り組むにあたっての基軸となる理念が示されれば、市民は安心して日々生活できるのではないのでしょうか。子どもに関わるあらゆる政策の出発点となるべき基本理念を、全国に先がけて子ども憲章など、憲章化することを提案します。市長の考えを伺います。</p> <p>(3) 就学前教育の重要性について認識し、理念を明文化したうえで、実効性を持って政策を実行していくためには、そのための行政組織が必要なのは言うまでもありません。</p> <p>ア 子どもに関わる施策について一貫通貫で包括的に対応できる、縦割りでない横断的体制づくりが必要と考えます。</p> <p>市長も所信表明の中で、「先々は子育て施策の専門部署を設けていきたい」と仰っておりましたが、こういった事を、いつまでを目途に目指しておられるのか伺います。</p>  |       |               |          |           |
| 3 松江てらこや事業について  | <p>(1) 先般スタートした「松江てらこや事業」が順調に滑り出しております。公民館と地域の方々が協力しながら一体となって運営され、単に子どもたちに学びの場を提供する以上のポテンシャルを持つ大変有意義な事業であると実感しています。</p> <p>ア 今後どのように展開していくのか、実施期間（通年とするか）や、対象年次、対象地域を拡充していく事も考えておられるのか、今後の展望を伺います。</p> <p>イ 実施場所として、公民館だけでなく、図書館、学校の空き教室利用、空き家の活用なども考えられるのではないかという点について、市長の考えを伺います。</p>   |       |               |          |           |
| 4 ふるさと納税について    | <p>(1) 寄附金の使い道を“松江の未来の担い手である子どもたちのために使う”と、大きく打ち出してはいかがでしょうか。</p> <p>「子育て・教育環境支援事業」を大きく掲げることは、「子育て環境日本一」を掲げる松江市にとってみればごく自然なものであり、使途目的を明確に打ち出すことで共感を得るのではないかと、市長の考えを伺います。</p> <p>(2) ふるさと納税寄附金制度を、返礼品目当て財源確保のための自治体間競争という認識に囚われるのではなく、更に地域の活性化、産業振興も含めた“シティセールス”の自治体間競争であるという意識改革が必要と考えますが、市長の考えを伺います。</p> <p>(3) “緑の街”を標榜するのであれば、一度寄附をして頂いた方と継続的なコミュニケーションをとり続けることで、その縁をより深め、ファンを増やしていく事が大切ではないかと考えます。例えば、現在松江市では、Web サイト上で寄附金を活用した事業例を紹介していますが、寄附者へ掲載の案内はしておらず、せっかくのご縁が繋がっていないように見受けられます。継続的、積極的なコミュニケーションが必要と考えますが、市長の考えを伺います。</p> <p>(4) 「企業版ふるさと納税」制度も始まっており、松江市は未だ申請をしていない状況です。今後の取り組み、目標を伺います。</p> |       |               |          |           |

# 一般質問通告事項【9月13日(水)】《3日目》

平成 29 年松江市議会 9 月定例会

| 順序 18        | 議員名 出川 桃子  | (個人質問) (一括方式) | 質問日 (予定) 9月13日 |
|--------------|--|---------------|----------------|
| 質問項目         | 質問要旨   |               |                |
| 4 ふるさと納税について | <p>(5) 松江市で同制度の担当部署は、政策部地域振興課の2、3人と聞いております。</p> <p>シティセールスの観点から、同制度に関わる各部署(政策・観光・産業・財政など)から人材を横断的に集めた専門部署を創設する、あるいは民間の知恵を取り入れた官民一体プロジェクトチームなど、体制の強化も必要と考えますが、市長の考えを伺います。</p> |               |                |

| 順序 19                         | 議員名 新井 昌禎   | (個人質問) (一括方式) | 質問日 (予定) 9月13日 |
|-------------------------------|---|---------------|----------------|
| 質問項目                          | 質問要旨  |               |                |
| 1 きらりと光る元気な企業・事業者を育てる取り組みについて | <p>(1) 人口減少、少子高齢化が進んでいく中で、松江市が、多くの方から選ばれ、持続的に発展していくためには、質の高い魅力的な雇用が他の地域よりも沢山あることがポイントになる。このためには「きらりと光る元気な企業・事業者を育てること」が大切で、具体的には、職場の安全衛生活動に、一生懸命取り組む企業・事業者を育てることだと考える。厚生労働省は、安全への取り組みを企業の礎と位置づけ「あんぜんプロジェクト」に取り組んでいる。現在、島根県内では、建設業を中心に11企業が登録しているが、本来は、もっと多くの業種の企業が登録すべきであり、特に地域の中小企業が登録することが必要だと考える。行政が、地元の中小企業の「あんぜんプロジェクト」への登録を支援するとりくみが「きらりと光る元気な企業・事業者を育てる」ことだと考えるが所見を伺う。</p> <p>(2) 元気な企業・事業者を育てる取り組みとして「誘致・新增設企業数」を目標指標としているが、単に数が増えることを目標とするのではなく、もう一段深堀して、質の高い雇用が増えることを目標とすべきである。また、「創業支援事業による企業・創業者数」についても、質の高い雇用であることが重要だと考えるが所見を伺う。</p> <p>(3) 「市内企業へ就職する生徒・学生数」について、地元就職数を年平均695人としているが、地元企業が求める人材と各種ある学校の卒業者の能力やニーズがマッチングしているかどうか問題である。アンケート調査等による精度の高い卒業生のニーズ把握が必要と考えるが所見を伺う。</p> |               |                |
| 2 男女共同参画社会の実現への取り組みについて       | <p>(1) 男女共同参画社会の実現について、「男女の固定的役割分担意識」に否定的な市民の割合を増やしていくことを目標指標としているが、もう少し積極的に捉えて、市内に女性が活躍する企業が増えることが、結果として、男女共同参画社会の実現につながると思う。女性が活躍する企業を示す指標として「えるぼしマーク」の認定制度があり、認定を取得した企業が市内に沢山あることが、男女共同参画社会の実現につながると思う。この「えるぼしマーク」を取得するためには、女性活躍推進法に係る一般事業主行動基本計画の策定と届出が必要であり、努力義務となっている300人以下の中小企業に対して基本計画の策定と届出を推進する取り組みを後押しする必要があると考えるが所見を伺う。</p>   |               |                |



# 一般質問通告事項【9月13日(水)】《3日目》

平成 29 年松江市議会 9 月定例会

| 順序                              | 議員名  | 新井 昌禎 | (個人質問) (一括方式) | 質問日 (予定) | 9 月 1 3 日 |
|---------------------------------|--|-------|---------------|----------|-----------|
| 質問項目                            | 質問要旨   |       |               |          |           |
| 3 観光文化産業の魅力向上とインバウンド強化の取り組みについて | <p>(1) 今年度、松江城の整備や天守展示の改修が計画されるとともに、松本城など他の国宝天守と連携した世界遺産登録をめざす動きについても着実に進んでいく必要がある。今後、松江城が世界遺産に登録されるためには、継続的に城内の整備や展示の改修などを行っていく必要があると考えるが、今年度以降の整備方針や計画などについて伺う。</p> <p>(2) 松江城を中心とした松江市ならではの多彩な資源を生かした観光地づくりや周辺地域の整備を進めていく必要があると考えるが、今後の整備方針や計画などについて伺う。</p> <p>(3) 松江市の観光入込客数が増えることに伴い、市内中心部への車の流入量が増えることが懸念される。現在も、土・日曜日については、既に市内数カ所で慢性的な交通渋滞が発生しており、観光客に対する配慮が必要だと考えるが、今後の整備方針や計画などについて伺う。</p> <p>(4) インバウンド強化策として、日本に対して友好的な方が多い台湾からの来訪者を増やす計画も必要である。LCC などを活用した出雲空港への国際定期便の就航について、早急に関係機関と連携して検討する必要があると考えるが所見を伺う。</p> |       |               |          |           |

| 順序                              | 議員名   | 貴谷 麻以 | (個人質問) (一括方式) | 質問日 (予定) | 9 月 1 3 日 |
|---------------------------------|---|-------|---------------|----------|-----------|
| 質問項目                            | 質問要旨  |       |               |          |           |
| 1 安全な地域のために (地域外交・核燃料)          | <p>(1) 外交は国家だけのものだけではない。東京に住んでいると地方のことはわからない。東京と松江では、アジア各都市への距離感も、有事の危機感も異なる。国家のみならず地域外交戦略が必要である。対アジアの外交・観光戦略を伺う。</p> <p>(2) 島根、広島、高知、グアム、北朝鮮が述べたミサイルの方向には原子力発電所と岩国基地がある。島根は核燃料が存在するだけで危険である。原子力発電所の配管はせいぜい震度 5 強にしか耐えられないと言われている。19 世紀の発想である原子力発電の廃炉作業を進めるのは当然であるが、国にも原子力からの卒業を促すべきであると思うが、いかがか。今後のエネルギーに対する考えを伺う。</p> <p>(3) 廃炉作業と関連作業で若い人たちは戻ってくるか。誇りある街の建設は可能か。</p> |       |               |          |           |
| 2 松江の発展のために、子どもたちや年配者に優しいまちづくりを | <p>(1) 日本一子育てしやすいまち、を市長が目指して来られたのは正しい方向だと思う。地域や国の発展は人の存在が前提だからである。然るに、まだ市職員全体には浸透していないように思われる。子どもの担当部を作られて、今後どのように全体の政策に反映していかれるか。</p> <p>(2) 国でも子どもたちや人に優しい道路づくりを進めて、逆に道路幅を狭くするなど方策を進めている。都会でもそうである。今後、どのように松江のハード行政はあるべきか、伺う。</p>   |       |               |          |           |

# 一般質問通告事項【9月13日(水)】《3日目》

平成 29 年松江市議会 9 月定例会

| 順序                              | 議員名  | 貴谷 麻以 | (個人質問) (一括方式) | 質問日 (予定) | 9 月 1 3 日 |
|---------------------------------|--|-------|---------------|----------|-----------|
| 質問項目                            | 質問要旨   |       |               |          |           |
| 2 松江の発展のために、子どもたちや年配者に優しいまちづくりを | <p>(3) 児童クラブの値上げが上程されている。デフレで人口減少の現在するべきこととは異なるように思う。これは今後の完全民間委託を考えたもののようにも思う。市民の目から見た児童クラブのありかたについて伺う。</p> <p>(4) 現在の保育園入所に関する待機児童、待機している児童数と対策について伺う。</p> <p>(5) 地域の、実働的で自由に動けるソーシャルワーカーが必要である。また本庁ではケースワーカーが新入職員であることが多いが、ケースワーカーは、経験が非常に大事である。福祉の専門家である場合はいいと思うが、そうでない場合は市民への差別意識を植えつけかねない。重要な地域福祉サービスの人材育成について伺う。</p>  |       |               |          |           |
| 3 産業発展のまちづくりと活性化について            | <p>(1) 中心市街地活性化施策について伺う。観光地としても松江市の中核としても、思い切った予算のつぎ込み方が必要であると思うが、いかがか。夜の街は、多少のことでも怪我をしないような安全性が必要ではないか。地元との協力、空き家対策とその情報開示、民間との協力、水燈路の行灯との連携など、センスあるまちづくりを一層進める必要があると思うが伺う。</p> <p>(2) 中心市街地再開発や、郊外の開発規制について、税制の見直しが必要ではないか。美しい街への誘導策が必要ではないか。税制については国への働きかけが必要ではないか、伺う。</p> <p>(3) 松江のものづくり産業は素晴らしい。また真面目でよく働かれる市民の方々がおられる。力を入れて振興すべきだと思うが、ものづくり産業の振興、PR策について伺う。</p> <p>(4) 世界遺産やジオパークのことなどがあるが、松江の常設の、センスあるライトアップについて考えを伺う。</p> |       |               |          |           |
| 4 食を守るための仕組み作りについて              | <p>(1) 市街地に農地があれば、それは大切なものである。然るに農地であっても税金が高くなるのはおかしいと市民の方の指摘がある。</p> <p>種子法の廃止、TPP、農協の再編成など、農業に対する風当たりは厳しいが、車を食べて生きることはできない。農薬や遺伝子組み換え食物、食品添加物を食べていては健康になれない。農地をアパートに転用したための自己破産が全国的に増えている。松江市では、農業をどうしたいのか、どのように市民の方の食を守ればいいのか伺う。</p>  |       |               |          |           |